

授業科目	音響学Ⅱ（音響音声学・聴覚心理学）				
担当者	松井 理直				
実務経験者の概要					
学科名	言語聴覚専攻科	学 年	1 年	総単位数	1 単位
		開講時期	後期	選択・必修	必修

■ 内 容

音声の音響的特徴について理解する。

■ 到達目標

日本語音声のフォルマントをはじめとした音響特性について正しく理解する。

■ 授業計画

- 第1回 調波複合音と非調波複合音
- 第2回 倍音と missing fundamental
- 第3回 聴覚の時間説と場所説
- 第4回 線スペクトルと連続スペクトル
- 第5回 短時間スペクトルについて
- 第6回 音源フィルタ理論
- 第7回 声帯のスペクトルの特性
- 第8回 共鳴という現象
- 第9回 閉管と開管の共鳴特性
- 第10回 中舌母音の共鳴特性の計算
- 第11回 日本語5母音の音響特性
- 第12回 スペクトログラムと接近音の音響特性
- 第13回 摩擦音と破裂音の音響特性
- 第14回 音声知覚について
- 第15回 マスキングとデジタル音声処理

■ 評価方法

筆記試験 80%、小テスト 20%

■ 授業時間外の学習（予習・復習等）について

予習時間 1 時間程度。復習時間は個人の理解度によるが、1 時間程度。

■ 教科書

書 名：プリントを配布

■ 参考図書

■ 留意事項

授業中に分からないことがあれば、必ずその場で質問をすること。
 質問は大歓迎なので、授業中に可能な限り内容を理解するようにしてください。
 小テストを含む試験時に不正な行為があったと認められた者については、規定に定める第16条を適用し、当期科目の全ての試験を無効にする。

■ 講義受講にあたって